

これは、心理学文献データベース PsycINFO (サイコインフォ) の使い案内です。ここでは、PsycINFO の特徴、PsycINFO への接続方法、トップ画面の説明、操作時の注意事項、基本検索モードの使い方、上級検索モードの使い方、その他の検索モードの説明、検索したデータの出力方法の順に説明をおこなっていきます。

【 1 】 PsycINFO (サイコインフォ) の特徴
心理学文献データベース PsycINFO (サイコインフォ) は、APA (American Psychological Association) の作成する、心理学と、医学・精神医学、看護学、教育学等の心理学関連領域における包括的な書誌データベースです。

様々な検索モードを用いて、情報源に到達することができます。一部はウェブ上で全

文を読むことができるものもあります。
収録対象は、50 か国 29 言語の学術雑誌、
書籍、学位論文、Cited References つまり
引用文献情報などです。学術雑誌は 2450 誌
以上を収録しています。
収録雑誌リストは、APA のウェブサイト
<http://www.apa.org/psycinfo/covlist.html>
から確認することができます。
収録範囲は 1806 年以降のもので、更新頻度
は毎週です。

【2】PsycINFO（サイコインフォ）への接 続方法

それでは、これから筑波大学附属図書館の
ウェブサイトから PsycINFO を使う方法を
ご説明します。筑波大学附属図書館ウェブ
サイトの理療科教員養成施設の方のための
ページのデータベース一覧、もしくは筑波

大学附属図書館のウェブサイトトップ画面の検索窓の下にあるデータベースをクリックし、データベースリストを開いてください。教育・心理学分野の中に **PsycINFO** のリンクがあります。リンクをクリックすると、接続をすることができます。

【3】 PsycINFO（サイコインフォ）の画面の説明

接続をすると基本検索の検索画面が立ち上がります。ここでは、簡単に画面の説明をします。

画面の最上部右の方には、左端から順に、「マイアカウント」「サポート&トレーニング」「ヘルプ」「ログオフ」の項目が並んでいます。マイアカウントでは、検索式の保存や検索結果の保存、画面のカスタマイズなどを行うことができます。

次に、その一つ下の段には青色のナビゲーションバーがあります。青色のナビゲーションバーには、左から順に「検索」「ジャーナル」「ブック」「マルチメディア」「マイワークスペース」という項目が並びます。現在開いている項目は薄い水色で表示されます。接続時は基本検索の画面が自動的に開きますので、「検索」の項目が薄い水色となっているはずです。

画面の上にナビゲーションバーがあります。左から、現在、開いている項目は薄い色になっています。

メニューバーのさらに上、右端にはマイアカウント、サポート&トレーニング、ヘルプ、ログオフの項目が左端から順に並んでいます。マイアカウントでは、検索式の保存、検索結果の保存、画面のカスタマイズといったことが可能です。

中央には検索窓があります。
検索窓の上には、左から順に基本検索、書誌
事項一括検索、検索ツール、フィールド指定
検索、上級検索、マルチフィールド検索とい
う検索モードの項目が表示されており、ク
リックすることで様々な検索モードを選ぶ
ことができます。検索モードを選択するこ
とによって、検索結果のソートやそれぞれ
目的に合わせた異なる結果を得ることがで
きます。

【4】 PsycINFO（サイコインフォ）の操 作時の注意事項

具体的な検索方法の前に PsycINFO の操作
時の注意事項について説明します。操作の
基本は以下の6点です。

- 1 キーワードは必ず英語で入力する

- 2 ブラウザの戻る・進むボタンはできるだけ使わない
 - 3 画面左上「検索」をクリックすれば基本検索画面に戻れる
 - 4 基本的に検索窓に何か言葉を入れて検索すると、毎回新規の検索になる。絞り込みを使った場合は、直前の検索結果に対する絞り込みになる
 - 5 横向きの黒い三角は下にメニューが隠れている状態を表し、下向きの黒い三角はメニューがすべて表示されている状態を表す。(検索履歴も最初は隠れているので注意)
 - 6 見た目でわからなくても検索結果が画面の下のほうに表示されていることがあるので注意
- 以上です。

【5】 基本検索モードの使い方

それでは、具体的な検索方法の説明に移ります。最初に基本検索を見てみましょう。

基本検索は一般的な英単語を使ったキーワード検索で、探したい主題やデータベースに精通していない場合にも関連する論文を検索することができる検索モードです。

サイコインフォに接続すると最初に立ち上がるのが、この基本検索の画面です。

画面中央には検索語入力欄があり、検索語入力欄の隣に青い「検索」という検索開始のボタンがあります。検索をする時は、この検索語入力欄に探したいトピックを語句または文章で入力します。動詞よりも名詞を使うとよいです。例えば、「うつ病患者に対する音楽療法について書かれた文献を探したい」という場合には、「うつ病」を示す英単語「**depression**」と「音楽療法」を示す英単

語「music therapy」を組み合わせて検索します。

検索語入力欄のすぐ右下には「関連する語句を含める」というチェックボックスがあります。このチェックボックスにチェックを入れると、キーワードに関連した語句、つまり同義語や複数形、スペルの変化形を検索語に加えて検索することができます。例えば **Japan** と入力すると、**Nippon, Nipponese, Japanese** なども関連語として一緒に検索されます。

「関連する語句を含める」のチェックボックスの左には、「マルチメディアを含める」というチェックボックス、そのさらに左には「絞り込み (クリックして展開)」という表示があります。この「絞り込み (クリックして展開)」の左横にある小さな右向きの黒い

三角をクリックすると、黒い三角が下向きになり絞り込みメニューが開きます。

絞り込みメニューでは、オンラインで全文が読める「Full Text」、最近発行されたものを検索する「Latest Update」などのチェックボックスがあり、チェックを入れることで検索結果を絞り込むことができます。

それでは、実際に検索をして検索結果画面の説明にうつりたいと思います。ここでは、

「関連する語句を含める」のチェックボックスにチェックを入れ、「depression」と

「music therapy」を間にスペースを入れて検索（AND 検索）をします。

検索結果は検索画面の下の方に表示されます。

スクロールダウンすると、画面下部にリスト形式で、検索結果が表示されます。基本検

索モードでは、検索結果は、新しい順ではなく「関連性の高い順」に星印をつけて、表示されます。星印が多ければ多いほど関連度の高いもので、最も関連性の高いものには星印が5つ表示されます。5つ星はすべての検索概念が完全に含まれているということです。4つ星は、すべての検索概念が含まれていますが、完全なものではありません。3つ星以下は検索概念が1つ以上欠落、つまり検索用語は直接含まれていないけれども関連ある領域の文献かもしれないことを表します。

また、検索結果にはハイライト機能があります。検索結果画面で黄色くなっているのが入力した用語で、関連語としてくわえられて検索された用語は赤紫でハイライトされます。

検索結果画面右の柱にはオレンジ色で

Ovid Open Access が表示されていることがあります。この柱ではオンラインでアクセスできる論文の検索結果が表示されています。このほかにも、検索結果画面で FullText と表示されているものもオンラインで全文を読むことができます。

検索結果の左の柱には検索情報が表示されます。どのような検索語で、基本検索が検索をかけたのかは、ここで知ることができます。例えば、使用した検索語句の「depression」の下には、「depression emotion」「depression」「depressions」「feeling of sadness」という単語が表示されています。検索の際に「関連する語句を含める」のチェックボックスにチェックを入れたので、「depression」の関連するこのような語も含めて検索されたということがここでわかります。

検索情報の下の方には、フィルター条件が表示されています。ここで、関連性、出版年、主題、著者、ジャーナル、ブック、出版物のタイプと必要な条件を指定することで、検索結果をさらに絞り込むことができます。検索結果の絞り込みには、もう一つ方法があります。

先ほど説明した、検索入力語欄の下の絞り込みメニューの中の左下に「絞り込み条件-詳細」というボタンがあります。このボタンを使うことでさらに詳細な絞り込み条件を指定することが可能です。ボタンをクリックすると、絞り込み条件の詳細なメニューが開きます。例えば、最も関連度の高い結果を選択したい場合には、「**Star Ranking**」の項目で「**Five Stars**」を選択し、画面下部にある「検索の絞り込みボタン」をクリックすると、最も関連度の高い5つ星で検索結果

を絞り込みます。また、「Age group」という項目では、実験対象となっている年齢層で絞り込みができます。つまり「180 School Age<age 6 to 12 yrs>」という条件を選択すると、6歳から12歳までの子どもが実験対象となっている研究を絞り込むことができます。

絞り込みの説明が長くなってしまいましたが、検索結果画面の説明に戻ります。リスト形式で表示されている検索結果のタイトルを一つクリックしてみましょう。タイトルをクリックすると、そのタイトルの詳細画面が開きます。詳細画面では、論文情報のほか、著者の情報がわかる著者抄録や論文の主題を表すキーワードとして、**Subject Headings** や **Key Concepts** などが表示されます。詳細画面の中で青色の文字で下線が

引かれている語句をクリックすると、その語句を使用した検索を自動的におこないます。

これで、基本検索モードの説明は終了です。ちなみに、画面上部の「検索履歴」という青いバーで検索履歴の文字の左にある黒い三角ボタンをクリックすると、検索履歴を確認することができます。

【6】 上級検索モードの使い方

次は上級検索を見てみましょう。

現在画面上部で「基本検索」が選択されていますが、そこから右に4つめの「上級検索」の項目をクリックすると、上級検索の画面に移ります。

上級検索はすべてのデータベースのキーワード、著者、論文タイトル、雑誌名を広範で

正確に検索することを目的としています。
この上級検索では、キーワードを別々に入力し、必要に応じて組み合わせ検索や絞り込み検索を行います。

入力した語句はシソーラス用語（統制索引語）にマッピングすることができます。シソーラス（統制索引語）とは、データベースに収録された文献データの主題・内容を表す統一されたキーワードのことです。各キーワードは階層的に位置づけられ、概念上の上下関係、道義、類義関係が明確に定義されています。同じ内容を表す様々な語を特定の用語に統一して各文献データに付与して検索に利用することで、ノイズや漏れの少ない検索が可能となります。

上級検索では自動マッピング機能により、自動的に検索語に関連するシソーラスが表示されるので、そこから適当と思われる用

語を選んで検索を行います。新しい用語については、まだシソーラスとして登録されていないことがあるので注意が必要です。上級検索では、キーワードを一語ずつ検索してシソーラスを確認し、後から検索履歴を使用して組み合わせ検索をする方法が有効です。

説明だけではわかりにくいので、実際に検索をおこなってみましょう。まずは画面の説明です。上級検索も画面中央に、右側に青い「検索」ボタンのある検索語入力欄があります。検索語入力欄のすぐ上には、左から順に「キーワード」「著者」「タイトル」「ジャーナル」がラジオボタンで選べるようになっており、検索対象が何であるのかを選択することができます。検索語入力欄の下には、基本検索と同じく、左から順に黒い三角

をクリックして展開する「絞り込みメニュー」と、「マルチメディアを含める」のチェックボックスがあり、「マルチメディアを含める」のチェックボックスの隣には「入力した語句を統制索引語にマッピングします」というチェックボックスが表示されています。

上級検索では、この「入力した語句を統制索引語にマッピングします」というチェックボックスが重要です。

画面の説明は以上です。

それでは、検索語入力欄に精神分裂病を表す英単語”schizophrenia”を入力し、検索語入力欄下部にある「入力した語句を統制索引語にマッピングします」のチェックボックスにチェックを入れて検索ボタンをクリックしてみましょう。

次の画面では、左から順に選択、統制索引語、自動エクспロード、フォーカス、スコープという項目名が上部にある表が表示されます。一番右端のスコープの欄に表示されている、青い小文字の「i」のアイコンをクリックするとこのシソーラス用語の意味と簡単な説明を見ることができます。

それでは、統制索引語の欄に表示されている”schizophrenia”の文字をクリックしてみてください。下線がついて青色の文字になっているはずです。ここをクリックすると、新たな表が表示され”schizophrenia”のシソーラスを確認することができます。

Narrower Terms という項目の下にある ”Acute Schizophrenia” や ”Catatonic Schizophrenia”が”schizophrenia”の下位語です。それぞれの文字をクリックすると、そ

のさらなるシソーラスも表示できます。
Used For という項目にある語はその語の代わりに使われている語を、Broader Terms という項目にある語のは上位語つまり広義の語、Related Terms は関連語を表します。
“schizophrenia”の2つ右側の欄には「自動エクスプロード」という項目のチェックボックスが表示されています。この自動エクスプロードのチェックボックスにチェックを入れ、表の一番上部の「続行」というボタンをクリックすると、選択したシソーラスを含め一括検索をおこなうことができ、検索結果の一覧リストが表示されます。下位語・上位語・関連語で検索に使いたいキーワードがあった場合には、使いたい語句の右側にある「自動エクスプロード」のチェックボックスにチェックをつけて検索をおこなってみてください。

では、次に上級検索モードで重要な検索の組み合わせ方について説明をします。

現在、先ほどの検索結果一覧が表示されているかと思いますが、上部には検索入力語欄が表示されているはずですが、その検索語入力欄に、今度はリスペリドン（統合失調用の薬の名称）を表す英単語”risperidone”をキーワードで先ほどと同様に検索を試みてください。

”risperidone”でも検索結果の一覧画面まで表示することができたでしょうか。

”risperidone”の検索結果一覧画面が表示されている状態で、画面上部の「検索履歴」バーを開きます。「検索履歴」の文字の左側にある黒い三角ボタンが右向きになっている場合は、黒い三角ボタンをクリックして、検索履歴が表示されるようにしてください。

先ほど検索した schizophrenia と risperidone が2件の検索履歴が表形式で表示されていると思います。表の列の項目名は、左から順に「チェックボックス」、「ナンバー」、「検索内容」、「結果」、「検索タイプ」、「操作」となっています。上級検索では、この検索履歴に表示されている各検索内容を組み合わせて検索することができます。一番左の項目であるチェックボックスにチェックを入れた行の検索履歴を組み合わせて検索ができます。

組み合わせ検索を利用することで、シソーラスを使用した検索同士を組み合わせにより正確な検索をおこなうことができます。

組み合わせ検索は、他のモードの検索履歴とも組み合わせることができますが、基本検索を利用した検索履歴とはかけ合わせができないので注意が必要です。

【7】 その他の検索モード

ここからは、その他の検索モードについて簡単に説明します。

初めは、書誌事項一括検索モードです。書誌事項一括検索は、著者名や論文名、雑誌名など書誌事項の断片情報で文献を確定する検索モードです。手元に一部分でも文献情報がある場合に便利です。

画面上部検索モードメニュー左から2番目の「書誌事項一括検索」という項目をクリックすると、「書誌事項一括検索」画面になります。ここでは、上から順に Article Title 、 Journal Name 、 Author Surname 、 Publication Year 、 Volume Issue Article First Page、Publisher 、Unique Identifier 、 DOI といった検索語入力欄がそれぞれ表示

されています。

例えば著者名、論文名、出版年の一部がわかっている場合、”Journal name”に雑誌名、”Volume”に巻、”issue”に号を”Article first page”に論文が掲載されている最初のページを入力します。すると、ひとつの文献を確定して検索することができます。

次はフィールド指定検索モードです。フィールド指定検索は PsycINFO を構成しているフィールドを利用して、特定のフィールドから検索したり索引を通覧したりするときに利用します。上級検索で説明をした、検索履歴を利用した組み合わせ検索で、特定のフィールドで絞り込みをしたい時には特に便利です。

画面上部検索モードメニュー左から4番目の「フィールド指定検索」をクリックすると、

フィールド指定検索モード画面になります。ここでは、上部に検索語入力欄があり、その下に各フィールドが項目として「ab:Abstract」「au:Author」というように一覧で表示されます。各フィールドの項目名をクリックすると、フィールドの説明や入力例を確認できます。例えば、Volume をクリックすると、発行物の巻号を示すものであること、等が英語で説明されています。各項目の左にはチェックボックスがあり、チェックボックスにチェックをいれることでフィールドが選択できるようになっています。検索語入力欄に入力したキーワードを、チェックを入れて選択したフィールド上で検索します。

例えば、機関のフィールドである「in:Institution」フィールドのチェックボックスにチェックをつけ、検索語入力欄

に”Japan”と入力すると、日本の機関に所属している著者が書いた論文を検索することができます。これを、先ほど上級検索で説明をした検索履歴を利用した組み合わせ検索で他の検索と組み合わせると、自分が知りたいテーマで、かつ日本の機関の著者が書いた論文を検索することができます。

最後に紹介するのはマルチフィールド検索モードです。マルチフィールド検索では、すべてのフィールド、もしくは個々のフィールドをそれぞれ選択し、複数のキーワードを入力して組み合わせで検索を行うことができます。「AND」「OR」「NOT」で語句を組み合わせた検索が可能です。ピンポイント的に探したい論文を見つけるのに効果的です。

画面上部検索モードメニュー左から6番目

の「マルチフィールド検索」をクリックすると、マルチフィールド検索モード画面になります。

マルチフィールド検索の画面では、上から順にいくつかの検索語入力欄が表示されています。それぞれの検索語入力欄の右側には、ドロップダウンメニューでフィールドを指定することができるようになっています。「All Fields」が選択されている時には、すべてのフィールドから検索をおこないます。2行目以上の検索語入力欄の左側には、同じくドロップダウンメニューで「AND」

「OR」「NOT」が選択できるようになっています。例えば、1行目の検索語入力欄に「schizophrenia」と入力し、2行目の検索語入力欄で「risperidone」を検索します。

2行目左側のドロップダウンメニューは「AND」を選択しておきます。さらに3行

目ではドロップダウンメニューで「NOT」を選択し、検索語入力欄に「man」というキーワードを入力します。この時点で、「schizophrenia」と「risperidone」というキーワードを含み、「man」というキーワードを含まない検索ができることになります。さらに、最後の行の右側下には「新しい行の追加」という項目があります。ここをクリックすると、さらに新しい検索語入力欄の行の行が追加されます。ここでは、左のドロップメニューで「AND」を選択し、検索語入力欄では「JAPAN」と入力、右側のフィールドを選択するドロップダウンメニューでは「institution field」を選択して検索をします。

すると、「schizophrenia」と「risperidone」というキーワードを含み、「man」というキーワードを含まない、著者の所属機関が日

本である、という条件の検索をすることができます。

マルチフィールド検索で注意したいのは、シソーラスが自動的に適用されないことです。つまり、この検索を使うには、自分で適切な検索ワードを入力する必要があります。そのため、この検索はデータベース検索に慣れている方が使うことをおすすめします。

【8】 検索したデータの出力方法

それでは最後に、検索したデータを出力する方法についてご説明します。

検索をおこなうと、検索結果がリスト形式で一覧表示されています。その検索結果リストの上部に5つのアイコンが表示されています。左から順に、「印刷」「電子メール」「エクスポート」「マイプロジェクトに追加」「選択を維持」です。

検索結果をまとめて出力する場合には、まず出力したい検索結果を検索結果リストの上部、アイコンの左側に表示されている、「すべて」と書いてあるチェックボックス、もしくは「範囲」と記載されている窓で指定します。出力方法は、先ほど説明したアイコンで指定します。

出力できるのは最大 200 件までです。200 件を超えた数を指定し他場合には、「選択した総数が、ダウンロード 1 回あたりの最大値 200 を超えています。選択するレコードの数を減らして、リクエストをもう 1 度実行してください」といった注意のポップアップが表示されますので、出力する範囲を 200 以下まで減らしてください。

アイコン「エクスポート」では、出力先に EXCEL、WORD や PDF の他、EndNote などの文献管理ソフトも指定できます。出力

範囲を指定し「エクスポート」アイコンをクリックすると、ポップアップ画面が表示されます。「書誌情報のみ」、「書誌情報と抄録」など、出力する情報を「表示するフィールドの選択」のラジオボタンで指定してください。そのあと、ポップアップ画面内下部の「検索結果のエクスポート」をクリックすると出力が行われます。さらに、検索履歴やURLを出力結果に含めたい時には、チェックボックス「検索履歴」等を選択してから、「検索結果のエクスポート」ボタンをクリックしてください。

【9】 おわりに

PsycINFO（サイコインフォ）は、様々な検索モードを利用することで多彩な検索ができるデータベースです。データベース内にあるヘルプでもいろいろな使い方を確認し

ていただくことができます。ご不明な点は、
大塚図書館 03-3942-6818 ill-
otsuka@tulips.tsukuba.ac.jp までどうぞ
お気軽にお問い合わせください。

2016年3月作成